

科目コード	N318
授業科目名	クリティカルケア看護論
授業科目名（英文）	Introduction to Critical Care Nursing
講義室等	1105、1356
学科	看護学科
対象学年	3年
開講学期	前学期
必修・選択の別	選択
単位数	1
時間数	15
該当ディプロマ	◎看DP-2
該当コンピテンス	◎看CP-3、○看CP-4、△看CP-5
学科	
対象学年	
開講学期	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
該当コンピテンス	
担当教員	永松 有紀
授業の概要	クリティカルケア看護の目的や、集中的な治療を必要とする患者、家族の特徴を理解し、必要な看護援助について学ぶ。この科目では、クリティカルな状況にある事例の臨床判断についてグループで論議する。演習では認定看護師から臨床の場での臨床判断の実際や、実践される看護技術の基礎を学ぶ。講義・演習を通じてクリティカルケア看護の専門性について考察する。
授業の到達目標 （学修効果）	1. クリティカルケアの対象となる患者および家族の特徴を説明できる。 2. クリティカルな状況にある患者のアセスメントと看護援助について論議できる。 3. 人工呼吸器装着中の患者（事例）の看護援助をとおして、安全・安楽の視点から援助の根拠を説明できる。 4. クリティカルケア看護の専門性について考察できる。
予習復習の所要時間	講義時間16時間(2時間×1コマ×8回)+予習・復習29時間
成績評価方法	講義・演習終了後の振り返り e-ラーニング（20%）、小テスト(40%)、レポート（40%）で60点以上を合格とする。
教科書	佐藤まゆみ・林直子編「成人看護学 急性期看護Ⅱ クリティカルケア」2024年（南江堂） ISBN:978-4-524-23288-8 野崎真奈美 他編「成人看護学 成人看護技術」改訂第3版 2023年（南江堂）ISBN:978-4-524-22954-3
参考書	
その他	

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R7.6.5	木	I	クリティカルケア看護の目的、基盤となる理論	講義	永松 有紀		
				予習 教科書の該当箇所を読んでおく				
				復習 確認テスト (e-ラーニング)				
2	R7.6.5	木	II	クリティカルケア看護の対象の特徴	講義	永松 有紀		
				予習 教科書の該当箇所を読んでおく				
				復習 確認テスト (e-ラーニング)				
3	R7.6.12	木	I	クリティカルケアが必要な患者のアセスメントと看護援助(1)	講義・グループワーク	永松 有紀		
				予習 事例の病態、治療に関する講義資料の作成				
				復習 講義資料や参考図書を用いて復習を行う				
4	R7.6.12	木	II	クリティカルケアが必要な患者のアセスメントと看護援助(2)	講義・小テスト	永松 有紀		
				予習 事例の病態、治療に関する講義資料の作成				
				復習 講義資料や参考図書を用いて復習を行う				
5	R7.6.16	月	I	人工呼吸器装着中の患者の看護(1)	講義・グループワーク	永松 有紀		
				予習 行動プロセスの作成		白石 祈枝		
				復習 演習を振り返り講義資料等を活用し根拠を復習する		森園 久美		
6	R7.6.23	月	I	人工呼吸器装着中の患者の看護(2)	演習	永松 有紀		森園 久美
				予習 行動プロセスの作成		坂井 智浩	1	
				復習 課題レポート		白石 祈枝		
7	R7.6.23	月	II	人工呼吸器装着中の患者の看護(3)	演習	永松 有紀		森園 久美
				予習 演習を振り返り講義資料等を活用し根拠を復習する		坂井 智浩	1	
				復習 講義資料や参考図書を用いて復習を行う		白石 祈枝		
8	R7.6.26	木	I	まとめ	講義	永松 有紀		
				予習 講義内容の復習				
				復習 課題レポート				